

発注企業動向調査結果

-2019.1-

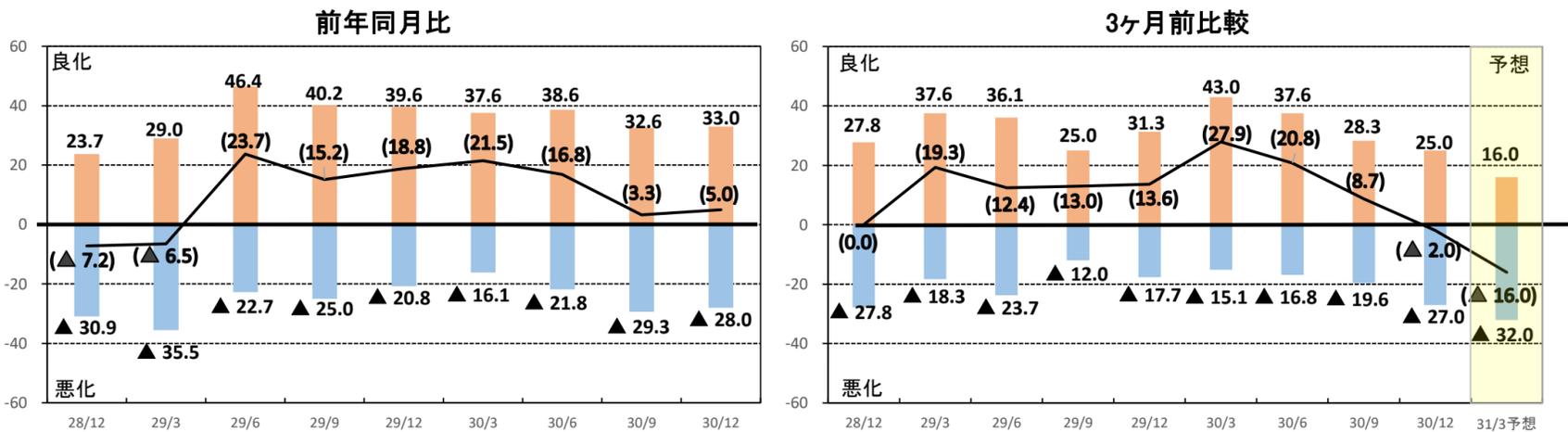
- 調査時点 平成30年12月調査(平成30年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業100社(回答率:66.6%)

<業種内訳>

プラスチック	12社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	11社
一般機械器具	19社
電気機器	18社
輸送用機器	20社
精密機器	2社
縫製	6社
計	100社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

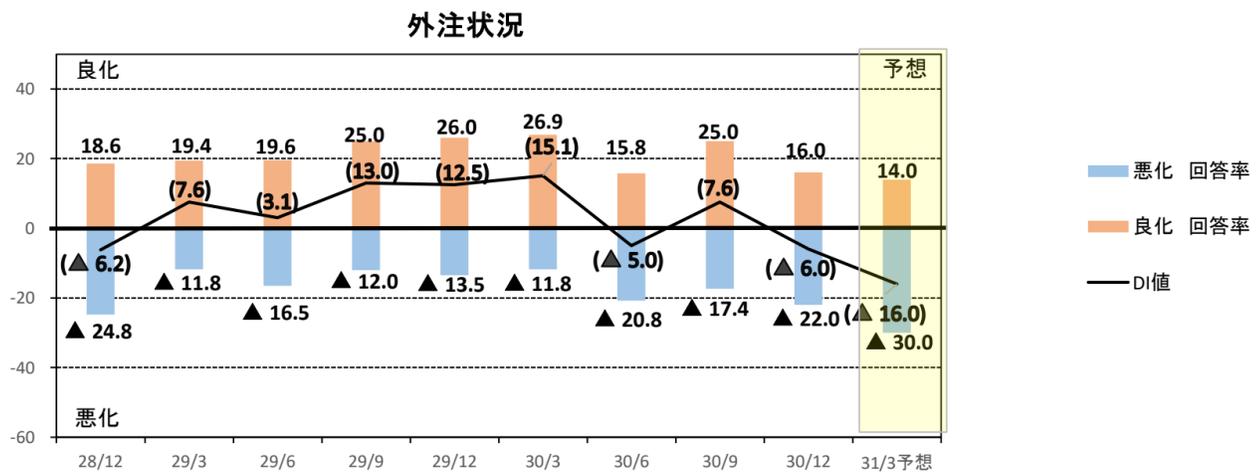
●生産高



	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	31/3予想
前年同月比	▲7.2	▲6.5	23.7	15.2	18.8	21.5	16.8	3.3	5.0	
3ヶ月前比較	0.0	19.3	12.4	13.0	13.6	27.9	20.8	8.7	▲2.0	▲16.0

■悪化 回答率
■良化 回答率
— DI値

●外注状況



	28/12	29/3	29/6	29/9	29/12	30/3	30/6	30/9	30/12	31/3予想
外注状況	▲6.2	7.6	3.1	13.0	12.5	15.1	▲5.0	7.6	▲6.0	▲16.0

●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは5.0で前回の3.3から1.7ポイント増で改善となった
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲2.0で前回の8.7から10.7ポイント減で悪化となった
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲6.0で前回の7.6から13.6ポイント減で悪化となった
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲16.0で14.0ポイント減の悪化、外注状況が▲16.0で10.0ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、来年度は建機が減産傾向にある、貿易摩擦問題に注視する必要がある、社内生産性の向上が必要という意見が寄せられた。